

## 事業報告

2019年度は、各施設の特徴を生かした事業を展開し、文化事業、国際事業いずれの事業も盛況のうちに終わることができました。

指定管理者業務では、町田市民ホールは4期目の2019年4月から2022年3月までの指定管理者の指定を受け、和光大学ポプリホール鶴川は、当財団と和光産業株式会社との「町田市鶴川緑の交流館指定管理業務共同事業体」としての2期目の3年目の年となりました。あわせて、文化団体支援準備室を立ち上げ、市内で活動している文化団体を支援する組織づくりの検討を行うとともに、町田市文化協会とラグビーワールドカップ2019ナミビアチームのおもてなし、町田市立博物館のファイナル展など町田市の事業に協力することができました。

町田国際交流センターでは、ラグビーワールドカップ2019などの国際大会が開催されることに伴い、外国人へのおもてなしボランティアを育成する事業等に取り組みました。

しかしながら、2020年2月から3月末日までの時期は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化事業や施設貸出事業、国際事業等が予定どおり実行できず、利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけするとともに、財団運営に大きな支障が生じました。

### ◎ 芸術文化及び市民文化の向上に関する事業（第1号事業）

#### (1) 文化活動の支援及び市民参加型事業

市民が主催（企画）あるいは参加する機会を提供し、内外の多様な人々との交流を図る目的で文化事業を実施しました。

#### 【町田市民ホール】

元NPO法人町田市芸術協会加盟の団体や町田市音楽協会等との協働により、2019年度は12事業を実施し、市民参加が活発に行われ地域文化の向上及び青少年の健全な育成に貢献しました。

主な事業としては、「まちだ全国バレエコンクール」、「全国町田ピアノコンクール」、「クラシックバレエ育成プログラム」などを実施し、若きアーティストの育成及び支援を積極的に実施しました。秋に行った町田市民文化祭で、多くの市民の方に参加していただき、盛況に終了することができました。

「ホールでピアノを弾いてみませんか？」は、6日間実施し大変好評を得ました。

なお、6日間のうち2日間は若きアーティストの育成支援を目的に、町田ピアノコンクール本選出場者に参加していただきました。

町田市民ホール以外の会場で行う「アウトリーチ活動」として、主に町田市在住の演奏家の協力を得て、「ふれあいコンサート」を3回、一般社団法人落語協会の協力を得て、「ふれあい落語」を2回、町田市内の市民センターやコミュニティセンターで実施するとともに、(一財)地域創造と忠生第三小学校でのコンサート、真光寺中学校や町田第三小学校で、町田市とパートナーシップ協定を結んでいる音楽座ミュージカ

ルによるワークショップも実施しました。いずれも地域文化の発展に貢献することができました。

#### 【和光大学ポプリホール鶴川】

2019年度は20事業を実施しました。町田市にゆかりのある演奏家あるいは町田市近隣の演奏家による「サロンコンサート」を6回実施し、多くの方にご来場いただきました。また、今年度で5年目を迎えた「鶴川ショートムービーコンテスト」を実行委員会の皆様と協力して開催したところ、昨年の応募数87作品を上回る92作品の応募がありました。今回は、コンテストの前日に、ホールで入賞作品の上映会を行ったところ、監督同士の交流や監督と観客の交流が生まれ、昨年と比べて大変活発なイベントとなりました。1月には町田市文化協会の協力を得て、新春文化の祭典 in 鶴川を開催し、多くの方に新春を楽しんでいただきました。「和光大学」との共催事業を含め、地域住民が主体的に実施する芸術・文化活動への支援に大きく貢献することができました。

また、和光大学と地元企業の協力を得て、オリジナルパッケージのコーヒーを作成し、楽屋あいさつ等に使用することで、町田市のシティーセールスを行うとともに、和光大学ポプリホール鶴川のPRに努めました。

### (2) 文化の提供事業

国内外の優れた文化事業を適正な入場料金で開催し、市民に提供しました。

#### ○主催事業

##### 【町田市民ホール】

主催事業を22事業実施しました。

ツアーすべての公演が完売となっている大黒摩季によるコンサートをはじめ、演歌歌手の山内恵介、坂本冬美などトップクラスの人気を誇る歌手の公演や、テレビ等で活躍する米村でんじろうのサイエンスショー、人気落語家である立川談春の独演会等ジャンルを問わず幅広い公演を実施しました。三浦祐太郎、H ZETTRIO、ドラム・タオ等町田市では初めての公演も多数開催しました。

また、講演会「ラグビーワールドカップ2019日本大会へ向けて」を開催し、気運醸成を図りました。

##### 【和光大学ポプリホール鶴川】

主催事業として26事業を実施しました。

毎年恒例となっている「菅原洋一コンサート」「沖仁フラメンコギター」をはじめジャズの「日野皓正クインテットライブ」、初開催の「稲川淳二の怪談ナイト」等様々なジャンルの公演と、映画上映会を5回、「若き演奏家による水曜午後の音楽会」を5回実施しました。特に人気講師による「神田松之丞独演会」では、間近で臨場感たっぷりの講談をお楽しみいただけたことで、大変好評を得ました。

## ○共催事業

### 【町田市民ホール】

共催事業を15事業実施しました。

高い人気を持つ「夏井いつき 句会ライブ」を始め、18年連続実施の「立川志の輔独演会」、恒例になりつつある人気落語家の「立川志らく独演会」等の落語公演の他、海外からの招聘公演である「ニニ・ロッソメモリアルコンサート」、楽器体験も楽しめる無料公演「都響プレミアムコンサート」等幅広い分野の公演を実施しました。

また、「キッズ伝統芸能体験」では、市内の子どもたちに半年間にわたりお箏の体験レッスンをを行い、成果のお披露目として国立劇場での発表会に参加していただきました。

### 【和光大学ポプリホール鶴川】

共催事業を8事業実施しました。

ホールでは、お子様を含め幅広い年齢層のお客様にお越しいただいた「パフォーマンスキッズトーカー」と、2018年11月以来1年ぶりの復会となった鶴川落語会「正蔵・喬太郎ガチンコ二人会」を開催しました。特に鶴川落語会の公演には、復会を楽しみにしていた多くのお客様にご来場いただくことができました。

多目的室では地元町田市在住である落語家への応援企画として継続的に行っている「柳家小はぜ勉強会」を6回開催し好評を得ました。

## ◎ 町田市が設置する文化施設等の管理運営に関する事業（第2号事業）

### 【町田市民ホール管理運営受託】

施設の利用では、市民団体、企業、財団主催及び共催などの多種多様な形態で多くの利用がありました。

ホールの利用率は76.6%、会議室は61.6%、練習室は44.5%、ギャラリーは43.5%で、2018年度に比べ、すべての施設において利用率は下降しました。これは、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症によるキャンセルや貸し出しの中止等が大きく影響しています。

また、施設の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所が増加しており、ガスヒートポンプの修繕工事を実施しました。あわせて、町田市が消火栓ポンプの入れ替え、軒先修繕工事等を実施しました。

### 【和光大学ポプリホール鶴川管理運営受託】

和光大学ポプリホール鶴川は、2012年9月29日のオープン以来7年半が経過しましたが、施設の利用者はオープン当初より毎日平均して1,500人以上が来館しており、利用の状況も市民団体、企業、財団主催及び共催などの多種多様な形態で多くの利用がありました。

ホールの利用率は78.6%、多目的室は56.1%、練習室（3室）は62.3%、会議室（4室）は61.9%、エクササイズルームは68.8%でしたが、2020年2月以降における新型コロナウイルス感染症によるキャンセルや貸出

の中止で利用率に影響しました。なお、10月1日から事務室の執務環境改善のため、練習室3室のうち地下1階の1室を設備担当職員の事務室として暫定的に使用しています。

屋上の手すり設置、鋼製ステップの設置など安全対策を施すとともに、ホールで使用するスタインウェイのピアノのオーバーホールを実施しました。あわせて、施設管理の面では、各種点検業務にあわせ防犯・防災に注視した日常管理を行い、安全安心に利用できる環境整備に努めました。

## ◎ 地域における国際交流活動の推進事業（第3号事業）

町田国際交流センターでは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくという多文化共生社会の構築のための取り組みを、7つのボランティア部会と共に4つの事業を企画・実施しました。

地域文化の創造と国際交流の促進、街づくりの視点から、子ども教室や日本語教室、相談事業等の外国籍市民への支援事業等を実施し、国際理解・国際交流事業の充実を図りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2020年2月中旬より、ボランティア会員及び支援を要する外国籍住民の安全確保のため、全てのボランティア活動を中止しました。

なお、2020年3月1日現在、100ヶ国6,946人の外国籍市民が町田市に居住しています。（町田市の人口の約1.6%）2019年3月1日と比較すると、657名増加しており、国籍別では、中国2,729人（39%）、韓国969人（14%）、フィリピン623人（9%）、ベトナム537人（8%）となっています。

### (1) 分野別事業活動

#### ① 外国人支援事業

日本語教室8クラスと親子教室の学習者総数は、延べ6,840名、支援者数は125名となっています。毎週土曜日には、子ども教室を開催し、外国籍児童・生徒等延べ569名、支援者32名で教科学習支援、日本語学習支援を実施しました。

また、6月には第1回子ども教室ブラッシュアップ講座「中学生の日本語指導と高校受験について」を開催し、多数の支援者の参加がありました。

7月及び10月には、日本語学習支援ボランティアのスキル向上のため、ブラッシュアップ講座を計2回開催し、76名が参加しました。

隔年で実施しています日本語学習支援ボランティア基礎講座を9月から11月の間計10回20時間の基礎講座を行い、39名が受講し、修了しました。多数の基礎講座修了者が外国籍住民の日本語支援を行っております。

1月には、日本語学習者による発表会を町田市生涯学習センターで開催し、外国籍住民（学習者）16名が日本語による発表を行い、日頃の学習成果を披露し、大変好評を得ました。

外国人相談部会では、週2回の生活相談に374件の相談があり、年2回行っている専門家による「外国人のための無料相談会」には22件の相談がありました。その他、市民病院等への同行通訳は176件、町田市等からの翻訳依頼は13件ありました。

また、外国籍住民の相談が多岐に渡るため、あらゆる相談業務に的確、円滑に対応できるよう外部講師による研修会を年11回実施し、239名が参加しました。

## ② 国際理解事業

外国人支援と国際交流への貢献を目指し、合わせて異文化理解の一環として、6言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、フィリピン語）11サークルを全19回開催し、345名が参加しました。

8月には「夏休み子どものためのキッズ英語」を開催し、77名の児童が、ゲームや歌、絵本の読み聞かせを通して生きた英語を学びました。

国際理解のための懇談会として5月に「外国のダンスとお話と」、6月に「キルギスってどんな国？」を開催しました。また、昨年同様8月に小学生の子ども達を対象に国際理解体験「世界がもし100人の村だったら」を実施しました。

小中学校等の総合学習の一環として行われている国際理解教育の支援のため、5校に外国人ボランティア15名（中国、韓国、ペルー、ロシア、米国、ボリビア、ミャンマー、ブラジル）を国ごとに各1名ないし2名を派遣し、527名の児童・生徒が国際理解を深めました。

## ③ 国際交流・協力事業

国際交流部会では、2019年11月に日本人と外国籍住民との親睦を図ることを目的に、外国人のためのバスツアーを実施し、紅葉の奥多摩湖へ74名が参加しました。

2020年2月に外国籍住民と日本人住民との交流を目的に第22回国際交流パーティーを開催し、130名が参加しました。

留学生と日本人家族との交流を目的にホームビジット事業3回を実施し、留学生（45名）と受け入れ家族（29家庭）が、相互の文化を理解し、尊重することを学ぶ良い機会となりました。

日本文化を紹介する事業として、8月には町内会が開催する盆踊り、9月には町田天満宮の例大祭山車巡行に外国籍市民が25名参加し、日本の伝統文化を体験することができました。そして、10月には「ウエルカムクラブ・町田の野菜を食べよう」を企画し、巻き寿司、けんちん汁、小豆寒天を作り、26名が参加し、大いに楽しむことができました。

国際協力事業として、第22回町田発国際ボランティア祭「夢広場」を11月に開催しました。NGO・NPO団体を中心に16団体が活動紹介やステージイベントを行い、約600名の来場者と交流を深めました。

#### ④ 情報提供・連携事業

国際交流センターの活動を広くPRするため、町田市役所イベントスタジオで5月に5日間、和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースで10月に6日間、ボランティア活動内容の紹介及び展示を行い、221名が来場しました。12月には町田市主催のまちカフェに参加し、国際交流センターのブースに200名の方が来場されました。

また、10月にはラグビーワールドカップ出場国であるナミビアチームへおもてなし通訳4名を派遣、まちだ〇ごと大作戦として「町田へようこそ外国語でおもてなしプロジェクト」、「町田時代祭り2019」に派遣し、町田市を訪れた外国人に対して、ボランティア会員（オモテナシプロジェクトメンバー）15名が英語による案内や通訳を行いました。あわせて、町田市及び町田市介護人材開発センターと協力し、在住外国籍市民と介護関係者の交流会「ワールド・トーク・カフェ」に参加しました。

#### ◎ その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第4号事業）

##### 〔広報事業〕

町田市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川、町田国際交流センターの事業を広く市民にPRするため、昨年同様「コンサートガイドまちだ」「ぼろんていえ」をそれぞれ年6回発行しました。

また、ホームページ、広報まちだ、市内各所のポスターや横断幕の掲示などにより、市民に様々な情報提供を行いました。

##### 〔チケットシステム〕

2017年6月から「かわせみオンラインチケットシステム」を導入しているインターネット予約、コンビニエンスストア（セブンイレブン）でのチケット受け取りを推進しました。その結果、2020年3月31日時点の会員登録者数は13,284名で、2019年3月31日と比較すると、5,028名増加しました。

##### 〔地域貢献事業〕

町田市民ホールのロビー、和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースおよびサロンを市民に開放し、展示や福祉団体による物販等が行われました。

特に、和光大学ポプリホール鶴川では、地域の情報発信基地としての役割を担うため、鶴川地区協議会による「3水スマイルラウンジ」を毎月第3水曜日に、交流スペースで定期的を開催しました。

##### 〔協力・後援事業〕

町田市役所での「まちカフェ」、町田市文化交流センターにおける催しなど、町田市民ホールや和光大学ポプリホール鶴川以外での町田市関連施設における文化

関連の催物に関して、様々な形で支援や協力を行いました。

また、町田市からの業務委託を受け、地産地 SHOW コンサートを2回、地産地 SHOW 落語を1回実施しました。あわせて、2019年4月から開催された町田市立博物館のファイナル展に町田市文化協会の協力により参加して、イベントを盛況のうちに終了することができました。ラグビーワールドカップ2019開催に伴い、ナミビア代表の公認チームキャンプ地となったことから、町田市文化協会と協力し、小野路里山交流館において選手との交流イベントなどを開催し大変好評を得ました。また、和光大学ポプリホール鶴川にてパブリックビューイングを実施し、ラグビーの盛り上がりを多くの人と共有することができました。

#### [レストラン・カフェ運営]

町田市民ホールにて「レストラン」の運営を行い、年間営業日数325日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年3月1日から平日は10時30分から14時までの時間短縮営業、3月7日からは土日祝日を臨時休業、3月30日と3月31日も臨時休業）において、総客数25,214名の利用がありました。

また、和光大学ポプリホール鶴川にて「カフェ」の運営を行い、年間営業日数325日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日から3月15日まで臨時休業、3月17日から3月27日まで時間短縮営業、3月28日から3月31日まで臨時休業）において、総客数42,208名の利用がありました。

#### [人材育成]

（公社）相模原・町田大学地域コンソーシアムと連携して、2019年9月から2020年3月までの8日間以上の日程で、町田市民ホールと和光大学ポプリホール鶴川では、相模女子大学1名、玉川大学1名、法政大学1名、町田国際交流センターでは、相模女子大学1名、玉川大学1名、和光大学1名、計6名の学生インターンシップを受入れました。

2019年11月には中学生2名の職場体験を財団3施設にて5日間実施しました。

また、昨年同様（一財）地域創造に財団職員1名を派遣し、職員の人材育成に努めました。